

## 見附駅周辺整備事業について ～ 東西自由通路整備の検討結果と今後の方向性 ～

見附駅周辺整備事業は、平成 30 年 9 月に公表した『見附駅周辺整備基本計画』に基づき整備を進めてきたところです。この事業の内、「東西自由通路整備」については、令和 4 年度から駅利用者等の利便性や事業規模の適正性などの観点から再検討に着手し、関係機関と協議を重ねてまいりました。その結果、自由通路については、整備を現段階では断念することになりました。

なお、見附駅周辺事業は重要との認識は変わらず、今後は、東西ロータリー、地下通路、駅舎など後期整備計画の検討を進め、民間活力活用とあわせて駅周辺エリアの魅力向上を図っていきます。

### 1. これまでの検討経緯（東西自由通路を中心に）

- ・平成 30 年 9 月 見附駅周辺整備基本計画書策定（概要別紙 1 参照）
- ・令和 4 年度 東西自由通路整備内容の再検討の実施  
…当初は、新設自由通路・半橋上駅舎での整備を計画していたが、駅利用者等の利便性や事業規模の適正性などの観点から再検討を実施。
- ・令和 5 年 4 月 再検討結果の公表  
…複数案の中から、利便性・事業費などの視点を踏まえ「既存跨線橋自由通路化案」を優先順位 1 位、「単独自由通路案」を優先順位 2 位とし、関係機関との協議や調査を進めていくこととした。（別紙 3 参照）
- ・令和 5～7 年度 健全度の確認や整備費の低減に向けて関係機関との協議や調査を実施
  - 令和 5 年度 既存跨線橋の点検調査、関係機関と協議
  - 令和 6 年度 設計諸元の確認、関係機関と協議
  - 令和 7 年度 上記結果を踏まえ対応方針の検討、整理、関係機関と協議

### 2. 検討結果

検討の結果、以下の理由により、見附駅周辺整備事業のうち「東西自由通路」の整備については、現段階では断念することとする。

#### （1）整備費が当初の想定を上回る可能性が高い

- ・令和 5 年 4 月時点の積算時から、公表されている物価動向では工事費が約 30%上昇し、他の自由通路整備事例ではそれ以上に上昇しているとの情報もある。
- ・関係機関との協議や調査を実施した結果、今後の維持管理なども踏まえ市が既存跨線橋を譲り受け自由通路として活用していくためには再検討時に想定していた以外の工事が発生する可能性が高い。

< 上記踏まえた概算整備費（試算） >

|            | (R5. 4 時点) 概算整備費 | (上記反映後) 概算整備費                 |
|------------|------------------|-------------------------------|
| 既存跨線橋自由通路化 | 9. 9 億円          | 1 2. 9 億円(※1) + α (追加工事) (※2) |
| 単独自由通路     | 1 7. 1 億円        | 2 2. 2 億円(※1)                 |

(※1) R5. 4 時点概算整備費に物価動向 (×30%) を乗じた額

(※2) 追加工事の内容によっては、単独自由通路と同等程度の工事費になる可能性がある

**(2) 他施設の整備・改修などにより見附駅周辺整備事業の目的達成は一定程度可能**

- ・東西自由通路整備を断念した場合でも、駅舎や西口ロータリーの整備、既存地下通路の改修などにより、「西口地区からの駅へのアクセス性・安全性の向上」や「市の玄関口にふさわしいシンボル空間としての顔づくり」の目的達成は一定程度可能。
- ・「バリアフリー環境」については、交通結節点機能を東口に集約して見附駅全体としてのバリアフリー環境の改善することも視野に入れて検討する。

**(3) 見附市中長期財政見通し（R7.2公表）を踏まえた事業検証**

- ・見附市中長期財政見通し（～R15）では、令和7年度以降の財政状況を踏まえ大規模建設事業における実施の可否も含めた計画の検証を行うこととしている。上記の通り事業費の上昇や維持管理費の発生も想定されるなどの財政面への影響や、費用対効果の面から検証を行った結果、現段階での事業実施は難しいと判断。

**3. 今後の検討の方向性**

- ・見附市のまちづくりを進めるうえで、見附駅周辺地区は活性化を推進していくべきエリアであり、その核となる見附駅周辺整備事業は重要かつ必要な事業であるとの認識は変わらない。
- ・「東西自由通路」断念の影響を最低限に抑えながら、「交通結節点機能の向上」、「市の玄関口としての景観づくり」、「賑わいの創出」など『見附駅周辺整備基本計画』の目的の実現に向けて、関係機関とも協議を行いながら、東西ロータリー、地下通路、駅舎などの後期整備計画の検討を進めていく。
- ・見附駅周辺整備事業と合わせて、見附駅周辺地区の活性化に向けて民間活力等を活かしたエリアとしての魅力向上に向けた取組を検討していく。

**4. 今後のスケジュール（予定）**

- 令和7年度 後期事業計画の骨子の整理
- 令和8年度 後期事業計画の策定（これまでの計画の見直し）
- 令和9年度～ 後期事業計画に基づき整備事業の実施

**5. その他（駅周辺にぎわいづくりの社会実験）**

芝生交流広場予定地について、後期計画の工事開始までの間、未利用地となることから、当該エリアの有効活用及び駅周辺のにぎわいづくりを目的として、JRとの協議を踏まえ、以下の内容で社会実験を実施します。

- ・場所：芝生交流広場予定地（別紙2参照）
- ・用途：キッチンカーなどの移動販売店の出店場所として貸出
- ・使用料：1区画500円/日

※使用料金収入はJRと共同で管理している協定広場の維持管理費に充当

- ・募集方法等：現在調整中